

高木: 社会科学の pugnash. (日本 強硬派エッセイ) の件
 朝永: 田中氏の RFP からの話. 田中氏の いざこざの件. と書い.
 高木: Pugnash の件. Rotblat の Stading Committee に入った.

afternoon.

坂田: Vitale の提案.

= 1年 → 5年の 12ヶ本館の件
 = 1年問題 という基本仮定か 5年か 10年か 問題.

湯川: Vitale の案 2ヶ月前程と 3ヶ月前程 2ヶ月前程 1ヶ月前程 1ヶ月前程 1ヶ月前程
 の違い.

山田: 中口の問題は 中口が参加して 条件をそろえて 5ヶ月前程 5ヶ月前程

湯川: 軍縮問題 ^{の討議} 一時 せめて 1ヶ月前程 2ヶ月前程 3ヶ月前程 4ヶ月前程 5ヶ月前程
 中口の人 1ヶ月前程 2ヶ月前程 3ヶ月前程 4ヶ月前程 5ヶ月前程

朝永: 1ヶ月前程 2ヶ月前程 3ヶ月前程 4ヶ月前程 5ヶ月前程

湯川: 中口が参加 1ヶ月前程 2ヶ月前程 3ヶ月前程 4ヶ月前程 5ヶ月前程
 philosophical 5ヶ月前程 討議 5ヶ月前程

山田

9月9-12日 Praha 40名 20
 13-19 ~90名 5 working group あり.

1. 1945-47 と 1975-77 間の PACE ^{especially} in CPD-D-119
 - 1.
 - 2.
 - 3.
2. Current
 1. 地下実験
 - 2.
 - 3.
3. Towards Comprehensive Disarmant
 - 1.
 - 2.
 3. New Ideas.

4. P Collective Security

1. Immediate
- 2.
- 3.

5. Ends and Methods of 平和保存

討論問題

科学技術の進展と低周波の技術との関係？
 negative side への注意

[どうよめよう。]

- 汚染問題 三宅さんとのやり取り
- 軍縮問題 軍縮後の世界
 ○ 軍縮問題の科学的討議のありか？
 = 体問題 ~~とは~~ の限界
- open 2nd 会 中D 2nd 会 考之方と交換の会と12 持つと5月
- 一致1年考之方と2年取上げ"のへて
- Einstein の考之 5th 次 a 100% 出てくる
- 科学の Negative Sides の分析 (汚染の問題とも関連)
- Wien ~~会~~ 国際協力の問題。
 宣言 ~~と~~ 宇宙開発, IGY 等, fusion

- 2nd 会 "討論会" 論文の考之めざして考之た。
- 又 3rd 会と12 取上げ
- 会場の round table discussion と12 考之めたりと。
- Pugwash Newsletter に 寄稿する (→ Rotblat 宛)

日本の「京都会議」として

低周波の技術の役割はどのくらい？

アパの問題は Prof Sakata の帰朝後の考之ではないか。

Yake * 心理も 恩恵も 皆 考之るべき。 宗教はどうか？

* 経済

Tom. 日本はどうか考之るべき。 改革と同じ
 経済の中で 変化が起るべきの74 年。

議論が50%と indifferent ~~100%~~ 話を通しな

short term の問題では 議論が20%程度

夫々の話をすると、25%の議論が十分だ

Yuk: 日本の中では 経済学の問題が最重要。政府筋では 科学者の意見をとりこんで
か、25%は 進めたいところ。軍縮の件は とうとう、それ以前の段階の資料
と12%

Tom: World Affair への問題に 経済学者が果してどの程度 contribute しているか?

Saketa: Oscar Lange のような 1つの global 3 階層の structure, 4 階層の hierarchy
も重要。ハットルやアッパルトも重要。

多面対策

4工の会談, 京都会談

- 4工の会談... 豊田利率に 出ている。
- 京都会談... 各地で 出ている様子も目子。
憲法問題。
原子科学者会談。
思想的・政策的問題 について 取上げていくか?
(Blackett 論文 に 対抗するものが 出てきた)
(Russell-Einstein 声明の 解釈)
(Axiom 1 の 意味では 題目。Blackett の 4つの 階層の 1つ
の 2つ 2つ (Pの))
(Pugwash 会談 50%の 限界に 20%)

"20% 会" の "第3回"

large Conf. は 17% 後12%

南極問題